

中野区基本構想及び新しい中野をつくる10か年計画の改定に係る検討骨子について

中野区基本構想（以下「基本構想」という。）及び新しい中野をつくる10か年計画（以下「10か年計画」という。）について、社会経済状況の変化やこれから先の長期的な社会動向等を見据え、全体的に見直しを図ることとし、改定に向けた議論を進めてきた。この度、改定に係る検討骨子を整理したので報告する。

1 将来を見据え地域社会として対応すべき社会状況、課題

（1）少子高齢化・人口減少社会への対応

- 高齢化の進行に伴う医療・介護、生活援護等の社会保障の行政負担への対応が必要である。
- 生産年齢人口の減少に伴う、地域経済・財政への影響、地域活動の担い手の縮小等への対応が必要である。

（2）グローバル化の進展への対応

- 社会のグローバル化の進展に伴う国際社会を視野に入れた地域基盤形成への対応が必要である。また、多様な価値観を受け入れる環境の整備が必要である。

（3）情報通信技術の進展への対応

- 情報通信技術の進展に伴うこれまでにない付加価値の創造への対応が必要である。

2 まちの将来像、10年後のまちの姿及び取り組むべき施策

上記1に掲げた社会状況や課題へ対応していくため、下記のとおり、めざすべき方向性ごとに領域と柱を設定し、柱ごとに中長期的なまちの将来像及び10年後のまちの姿を描くとともに、10年後のまちの姿を実現するために区が取り組むべき施策を位置付けた。

今後、領域の括り方や名称等を含め更に検討を進め、将来像及び10年後のまちの姿については基本構想に反映させ、施策については10か年計画において整理するものとする。

なお、柱ごとの将来像、10年後のまちの姿及び施策は、別紙のとおりである。

領域Ⅰ 拠点まちづくり、都市観光、産業振興、就労支援等に関する領域

- 柱1 世界に開かれた経済活動やにぎわいの広がる活動拠点
- 柱2 中野ならではの魅力にあふれ、来街者の絶えないまち
- 柱3 多様な経済活動が活発に行われ、就労や社会貢献の機会にあふれるまち

領域Ⅱ 都市基盤、住宅、防災・防犯等に関する領域

- 柱1 快適で安全な都市基盤が整い、住み続けられるまち
- 柱2 ライフステージやスタイルに応じた住まい方が実現できるまち

柱3 災害への備えや防犯の取組が進んだまち

領域Ⅲ 環境、生活衛生等に関する領域

柱1 環境負荷の少ない低炭素社会

柱2 良好な生活環境が守られているまち

領域Ⅳ 子育て支援、教育、文化等に関する領域

柱1 「子どもを産み育てたい」との希望が現実になるまち

柱2 新時代を見据えた教育により、次代を担う子どもが育つまち

柱3 区民の学びと自立を支え、文化・芸術を創造・発信するまち

領域Ⅴ 支えあい、地域包括ケア等に関する領域

柱1 様々な支えあいが広がり、住み続けられるまち

柱2 地域における包括的なケアにより、誰もが生きがいのある生活を営めるまち

領域Ⅵ スポーツ、健康づくり、福祉等に関する領域

柱1 人々がスポーツに親しみ、健康づくりや地域活性化が進むまち

柱2 健康的な暮らしを実現するまち

柱3 障害の有無に分け隔てられることなく、自らの意思と決定に基づき自己実現できるまち

柱4 暮らしの支えが整い、自立した生活を営めるまち

領域Ⅶ 社会保険制度等区民サービスの基盤に関する領域

柱1 安定した社会保険制度の運営で暮らしを支えるまち

柱2 質の高い区民サービスを支える基盤が整うまち

領域Ⅷ 区民参加、行政運営等に関する領域

柱1 区民とともに区政を築くまち

柱2 区民生活の将来を見据えた行政運営が行われるまち

3 今後の予定

平成27年10月	基本構想	検討素案	策定
	10か年計画（素案）		策定
	区民意見交換会の実施		
平成28年 1月	基本構想	検討案	策定
	10か年計画（案）		策定
	パブリック・コメント手続の実施		
3月	基本構想	議案提出	
	10か年計画	決定	

領域Ⅰ 拠点まちづくり、都市観光、産業振興、就労支援等に関する領域

柱1 世界に開かれた経済活動やにぎわいの広がる活動拠点

(将来像)

- 中野駅周辺は、最先端の業務拠点、個性豊かな文化発信拠点、最高レベルの生活空間といった多彩な魅力をもち、東京の新たなエネルギーを生み出す活動拠点として活力にあふれています。
- 駅周辺のにぎわいが再生された西武新宿線沿線や交流拠点では、自然や歴史などと共生した、新たな文化が構築され、区民の生活の質が向上するとともに、にぎわいや観光の拠点として注目されています。

(10年後のまちの姿)

- 中野駅の南北通路や周辺のまちづくりが進むとともに、最先端の業務拠点、個性豊かな文化発信拠点、最高レベルの生活空間といった多彩な魅力が形成されています。
- 西武新宿線沿線については、連続立体交差化に伴い踏み切りや線路による地域分断が解消され、安全性・利便性が向上しています。
- 各駅を中心とする道路整備や街区の再編等を契機に、それぞれの地域特性を活かしたまちづくりが進んでいます。
- 交流拠点については、業務施設や交流施設、住宅などの誘導等、まちの活性化に向けたまちづくりが進んでいます。

(施策)

- ア グローバルな経済活動、商業振興、文化振興の拠点としての中野駅周辺まちづくり
- イ 西武新宿線沿線・交流拠点のまちづくり

柱2 中野ならではの魅力にあふれ、来街者の絶えないまち

(将来像)

- 中野ならではの魅力が多くの人に認知されるとともに、沿線の駅や自治体と競い合い高め合いながら、来街者が絶えないまちとなっています。
- 外国人観光客が多く訪れる国際色豊かなまちとなっています。
- 来街者等の交流人口の増加により、まちのにぎわいや魅力が高まっています。
- 連携都市との間で長期滞在等の人の交流が進み、区民の生活における選択の幅が広がり、ライフスタイルに応じた暮らし方ができるようになっています。
- 商店街は、商品やサービスの供給だけではなく、医療・介護等をはじめとした日常生活の支援、交流の場として暮らしを支えるとともに、周辺のまちづくりと連携し、地域コミュニティの核となっています。

(10年後のまちの姿)

- 中野ならではの魅力・特徴が認知され、国内外から多くの人が中野のまちを訪れ、楽しんでいます。
- 積極的に来街者への対応を行うことで、交流が活発化し、まちのにぎわい、地域の活性化が進んでいます。

- 連携都市との間の経済、体験等の交流が活発化して、長期滞在や二地域居住などが行われています。
- 商店街は、商品やサービスの供給だけではなく、継続的な商業・ビジネスを踏まえたイベントや様々な交流の機会づくりなどとともに、医療・介護などを含めた日常生活支援の場として、まちの機能を活性化させ、地域コミュニティの核に向けて発展しています。

(施策)

- ア 都市観光の魅力発掘・発信
- イ 都市観光の受入環境・基盤の充実
- ウ 連携都市との相互発展に向けた交流
- エ コミュニティの核となる商店街の振興

柱3 多様な経済活動が活発に行われ、就労や社会貢献の機会にあふれるまち

(将来像)

- 多くの国際ビジネス関連企業が立地し、グローバルに展開する多様な活動が活発化しています。
- グローバルに展開する多様な活動から、新たな産業や文化等が生み出されています。
- グローバルに活動する人材が、中野の住人としてにぎわいづくりに貢献しています。
- 産業の発展によりまちに活気があふれるとともに、人々の生活の質が向上しています。
- 誰もが自らのライフスタイルにあった就労や公益活動を行っています。

(10年後のまちの姿)

- 国際的に展開するビジネスの活動基盤が整備され、多くの関連企業が立地しています。
- グローバルに活動する人材が、ビジネス拠点、生活拠点として、中野のまちを選択しています。
- 既存産業の育成、発展が図られ、地域経済が活性化し、持続可能なまちづくりが進んでいます。
- 行政や関係機関の支援と効果的な連携により、ライフサポート産業やICTコンテンツ産業の創出や、事業活動が進んでいます。
- 多くの若者に就労の機会などの選択肢が増え、自立して社会と積極的に関わりを持っています。
- 女性が能力を活かし、希望に応じた働き方を選択し、働き続けたり、再就職することができています。
- 障害者は就労や地域活動を通じて社会に参加し、様々な交流や活動に関わることで、いきいきと暮らしています。
- 高齢になっても、ライフスタイルに応じた仕事や社会貢献の機会に恵まれています。
- 仕事と家庭生活のバランスが保たれ、誰もが社会や地域と関わりながら暮らしています。

(施策)

- ア グローバルなビジネスや活動の形成
- イ 重点産業の振興と地域産業の活性化
- ウ あらゆる人の就業の機会の拡充・働きやすい環境の整備

領域Ⅱ 都市基盤、住宅、防災・防犯等に関する領域

柱1 快適で安全な都市基盤が整い、住み続けられるまち

(将来像)

- 土地の高度利用が進み、都市の機能や住環境とともに、まちの景観が向上しています。
- 建物の不燃化や公共空間の拡大などが進み、災害に強いまちになっています。
- 公園や遊歩道、街路樹などによって、まちにみどりが増えるとともに、健康維持のための活動や憩いの場が増えています。
- まちの交通環境が整備され、誰もが快適に日常移動ができています。
- 都市計画道路や狭あい道路などが、それぞれの担う役割に応じて整備され、まちの安全性・快適性が確保されています。
- 道路や施設のバリアフリー化等が進み、誰もが安全、快適に都市生活を送っています。

(10年後のまちの姿)

- まちの景観に係るルールに基づく景観の整備、土地の高度利用等が進み、快適な都市環境が形成され始めています。
- 大震災、水害等に備えた、災害に強い、安全・安心なまちづくりが進んでいます。
- 公園や遊歩道、街路樹等の整備や民有地や住宅での緑化が進み、まちのみどりが増加しています。
- 多様なニーズに応じた多様な交通環境が整っています。
- まちの骨格となる道路の整備が進み、まちの安全性、交通の利便性やにぎわいなどが向上しています。
- 狭あい道路の整備が進み、日常生活の利便性やまちの環境が向上しています。
- 道路や施設のバリアフリー化等の誰もが快適に過ごすための都市基盤の整備が進んでいます。

(施策)

- ア 持続可能な都市を形成するための土地利用の推進
- イ みどりのネットワークの構築
- ウ 利用しやすい交通環境の推進
- エ 道路・橋梁の安全性・快適性向上
- オ 誰もが安全で利用しやすい都市基盤の整備

柱2 ライフステージやスタイルに応じた住まい方が実現できるまち

(将来像)

- 多様で質の高い住宅や魅力ある景観、住環境により、子育て層から高齢者等までが、それぞれのライフステージやスタイルに応じ、安心して中野のまちで暮らしています。

(10年後のまちの姿)

- 住宅の共同化、リノベーション、空き家活用等の様々な手法により、住宅ストックや土地が活用されています。
- 子育て層や多世代同居のため、そのライフスタイルに応じた広さの住まいが確保されています。
- 高齢者は、様々なサービスにより、安心して自宅で暮らすことが出来ています。また、住み替え等の支援が充実し、生活の必要に応じた住まいが確保できています。

(施策)

- ア ライフステージやスタイルに応じた多様な住宅の誘導

柱3 災害への備えや防犯の取組が進んだまち

(将来像)

- 災害への備えが、自助・共助・公助のそれぞれの視点で整っています。
- 避難等災害時に支援の必要な人への対応が充実し、誰もが安心して地域生活を送っています。
- 多くの人が地域での防犯活動に参加するとともに、防犯のための環境整備が進み、まちの安全が高まっています。

(10年後のまちの姿)

- 多くの人が、自ら災害への備えを行うとともに、防災訓練などに積極的に参加しています。
- 避難の際に支援が必要な人への支援態勢が構築されるとともに、円滑な避難生活を送るための態勢が整備されています。
- 災害時や復旧・復興などへの対応の基盤が整い、迅速な対応ができるとともに、日常生活や事業活動が早期に復旧できるまちになっています。
- 地域では、警察等関連機関と密接な連携を持ち、自ら防犯活動に参加するなどの取組が進んでいます。

(施策)

- ア 災害時における対応力の向上
- イ 地域の生活安全の向上

領域Ⅲ 環境、生活衛生等に関する領域

柱1 環境負荷の少ない低炭素社会

(将来像)

- 日常生活の中で低炭素なライフスタイルが浸透し、次世代に引き継がれています。
- 環境負荷の少ないまちの都市施設等の基盤が整い、低炭素なまちが築かれています。
- ごみの発生抑制、資源化の取組が徹底されることにより、「ごみゼロ都市・なかの」が実現しています。
- 都市の暮らしの中で、みどりを育て、うるおいとやすらぎを感じられるまちとなっています。

(10年後のまちの姿)

- 地球環境にやさしいライフスタイルが、あらゆる世代の日常生活の中に幅広く根づいています。
- 事業活動等における省エネ、再生可能エネルギー利用等の取組が進み、環境負荷の少ない低炭素なまちづくりが進んでいます。
- 区民、事業者、区、それぞれが役割を果たすことにより、ごみ発生抑制、資源化の取組が進み、環境負荷が低減するとともに、ごみの大幅な減量が実現しています。
- 建替えなどにもなう緑化のほか様々な工夫により、暮らしの中に息づくみどりが増えています。

(施策)

- ア 地球にやさしいライフスタイル等の推進
- イ ごみの発生抑制と資源化の推進
- ウ 身近な緑化の推進

柱2 良好な生活環境が守られているまち

(将来像)

- 食の安全や薬物乱用の防止などにより、区民の暮らしの安全が高まっています。
- 動物愛護の精神が広く共有され、地域の中で人と愛護動物との共生が図られています。
- 騒音・振動や害虫・害獣等生活環境を阻害する要因が排除され、人々が良好な生活環境の中で暮らしています。

(10年後のまちの姿)

- 食中毒防止のための適切な食品監視・指導と、食品の安全・安心について区民・事業者・行政の間で情報・意見交換をする機会の充実等により、安全・安心な食中毒のおそれのない衛生的な食品が常に提供されています。
- 区民団体等との協働により危険ドラッグは撲滅され、区民は正しい知識に基づいて医薬品を利用しています。
- ペットの正しい飼養方法が普及し、愛護動物との共生について理解が深まっています。
- 騒音・振動・悪臭等への適切な対応が進み、良好な生活環境が維持されています。
- 自主防除の知識浸透と確実な駆除により、感染症を媒介する衛生害虫・動物等から地域が守られています。

(施策)

- ア 衛生環境の整った地域づくり
- イ 地域での人と愛護動物との共生促進
- ウ 良好な生活環境整備の維持向上

領域Ⅳ 子育て支援、教育、文化等に関する領域

柱1 「子どもを産み育てたい」との希望が現実になるまち

(将来像)

- 子どもたちは、地域の中で見守られ、様々な体験を通じて心豊かに育っています。
- ニーズに応じた支援や教育・保育環境が整い、保護者は育児等への不安や孤立感が解消され愛情と責任を持って子育てに臨んでいます。
- 虐待や発達上の課題がある子どもや家庭への支援や、地域での理解が深まり、子どもがみな大切にされています。

(10年後のまちの姿)

- 地域の子育て支援の拠点の整備が進み、親同士の交流や、子どもたちの様々な活動が行われています。
- 地域で子育て支援者やコーディネーターの育成が行われ、育成活動のネットワークが広がり、地域全体で子どもの育ちを支えています。
- 妊娠・出産期からの一貫した相談・支援体制により、親が自信と自覚を持って子どもを育て、親自身も子どもの生育とともに成長しています。
- 虐待や発達の課題など、個別的な支援を必要とする子どもへの一貫した支援が、関係機関の連携のもとに推進されるとともに、地域での理解が浸透しています。
- 子育て家庭は、子どもや家庭の事情に応じて必要な子育て支援サービスを利用して、安心して子育てができています。
- 全ての乳幼児が、必要に応じた保育や幼児教育を受けられるよう、十分なサービスが提供されています。

(施策)

- ア 子どもの育ちを支える地域づくり
- イ 妊娠からの一貫した切れ目のない相談支援体制の整備
- ウ 配慮や支援を必要とする子どもと家庭への支援の強化
- エ 子育てサービス・幼児教育の充実

柱2 新時代を見据えた教育により、次代を担う子どもが育つまち

(将来像)

- 子どもたちに自他の生命や人権を尊重する心が育まれています。
- 自ら学び考え、自らの道を切り拓き、社会変化に対応できる人材が育っています。
- 学校、地域、家庭の協働により、学校の教育力が向上し、活力ある学校が経営されています。
- 学校は、地域やボランティアのさまざまな活動によって、地域コミュニティの核となり地域の連帯が深まっています。
- 子どもたちは、豊かな情操を育み、知力・体力を高めながら、自分の将来に希望や目標を持ち、いきいきと学んでいます。

(10年後のまちの姿)

- 子どもたちは、規範意識や社会性を身に付けるとともに、自他を尊重する態度が育っています。
- 子どもたちは、意欲的に学び、基礎学力を身に付けるとともに、思考力や判断力、表現力など個々を伸ばしています。
- 学校と地域が連携・協力する体制が整い、子どもたちは多様な体験や学習に取り組み、社会性の育成が進められています。
- 特別な配慮を必要とする子どもたちを含めたすべての子どもたちが、個々に応じたきめ細やかな教育を受け、地域の中で交流しながらその可能性を伸ばしています。
- 成長期の心の問題への多様な支援体制が整っています。
- 家庭や学校、地域の協力した取組によって、子どもの体力が向上しています。
- 豊かな食文化を身につけ、子どもが健やかに育っています。

(施策)

- ア 自らの道を切り拓き、生きる力を支える学力、社会性等の習得をめざした教育の展開
- イ 家庭・地域・企業など学校を取り巻く様々な人々の連携による教育の充実
- ウ 発達の課題や障害のある子どもの教育の充実
- エ 子どもの体力づくりの促進

柱3 区民の学びと自立を支え、文化・芸術を創造・発信するまち

(将来像)

- 生涯を通じた文化・芸術や学習の機会が地域の中に広がり、区民は自らの可能性を新たに伸ばし、いきいきと暮らしています。
- 中野に息づく歴史、伝統文化が保護、継承され、それぞれの魅力が周知され、まちがにぎわっています。
- 区民は、豊富な情報資源を仕事や暮らしに活用し、豊かな充実した人生を送っています。

(10年後のまちの姿)

- 文化・芸術活動のための場所や機会などが身近な地域の中に広がり、区民は学びの可能性を広げ伸ばしています。
- 中野に息づく歴史、伝統文化の魅力が普及、継承され、まちのにぎわいにつながっています。
- 学校と図書館が連携した読書活動を推進することにより、子どもたちは読書に親しみ、豊かな創造力と生きる力を育んでいます。
- 図書館は、地域の文化・情報の拠点として、区民の仕事や暮らしを支援しています。

(施策)

- ア 文化・芸術・生涯学習活動の支援
- イ 利用しやすい図書館運営の推進

領域Ⅴ 支えあい、地域包括ケア等に関する領域

柱1 様々な支えあいが広がり、住み続けられるまち

(将来像)

- ライフステージや関心に応じた就労、公益活動、文化・生きがい活動を通して、社会参加が進んでいるとともに、地域での課題に、それぞれの立場から参加し、その解決を図っています。
- 町会・自治会に、多くの人が参加し、様々な活動を行う団体と連携して、地域コミュニティの核として、地域の課題を自主的に解決しています。
- 公的なサービスを補完しより柔軟できめ細かな日常生活のニーズを満たす活動が、地域団体、公益団体や民間活動により形成されています。
- 近隣による見守りや日常的な支えあい活動などにより、区民生活に安心がもたらされています。

(10年後のまちの姿)

- 地域課題を解決するための自発的な話し合いや参加の意識の醸成が進み、多くの区民が参加し、様々な取組が活性化しています。
- 町会・自治会は、地域での課題を解決するため、他の地域団体との連携も深めつつ、開かれた地域活動の中核となっています。
- 区民活動センターは、区民の意思に基づいて地域を運営する拠点として、機能しています。
- 町会・自治会、大学、NPO、民間企業等の広範な連携が行われ、地域活動や公益活動が活性化しています。
- 近隣関係を軸とした地域での支えあい活動が広がり、多くの人が担い手となっています。

(施策)

- ア 地域課題を自ら解決する活動の推進
- イ 公益活動への参加・育成・連携等の基盤整備
- ウ 見守り・支えあい活動の拡充

柱2 地域における包括的なケアにより、誰もが生きがいのある生活を営めるまち

(将来像)

- 区民とその家族は、自らの意向、選択が尊重され、自己実現に向けた生活を営んでいます。
- 区民のお互いの見守り・支えあい活動によって必要な支援につながり、誰もが地域の中で孤立することなく安心して生活しています。
- 誰もが、ライフステージに応じた相談や様々な機関等の連携により、自立した日常生活に向けた支援をうけ、地域の中で、健やかに暮らしを続けています。
- 質の高い保健・福祉等の多様なサービスが確保されるとともに、利用者の保護が徹底され、区民が安心してサービスを利用しています。

(10年後のまちの姿)

- 認知症などへの理解が深まり、後見人制度や近隣の支えあいにより、区民は自らの選択による意向を尊重され、地域生活を続けています。
- 身近な地域の中での見守り・支えあい活動によって支援が必要な人が把握され、適切な相談・支援を受けています。
- 町会などの地域団体、NPO、ボランティア団体、事業者や医療機関などが連携し、見守り、医療・福祉・介護の支援、健康づくり・予防、住まいなどを一貫して総合的にサポートする体制が整い活発に活動が展開されています。
- 保健福祉・医療などの多様なサービスは、必要とされる量が確保されるとともに、包括ケア活動の担い手の確保と多様で質の高いサービスが確保されています。

(施策)

- ア 地域包括ケア体制の構築
- イ 地域での生活を支える多様で質の高いサービスの提供

領域Ⅵ スポーツ、健康づくり、福祉等に関する領域

柱1 人々がスポーツに親しみ、健康づくりや地域活性化が進むまち

(将来像)

- スポーツ競技力が高まり、国内外で活躍する区民が増えています。
- 多くの区民が、身近な地域で、日常的な運動・スポーツに親しみ、健康に暮らしています。
- 様々なスポーツが区内で盛んに行われ、スポーツを通じて地域コミュニティが活性化するとともに、まちのにぎわいが高まっています。

(10年後のまちの姿)

- トップレベルの競技やアスリートを通じて、スポーツへのあこがれや関心が高まり、区民の競技活動が活発に行われています。
- トップアスリートやスポーツ指導者の活用によって、地域のスポーツ団体や学校部活動への技術的支援や活動支援が進んでいます。
- 誰もが、その人なりに楽しみながら継続的に身体活動やスポーツを楽しむ場や機会が提供され、地域の中に広がっています。
- 身近な地域でのスポーツ活動を通じて、豊かな人間関係や地域コミュニティの形成が進んでいます。
- 多様なスポーツイベントが開催され、多くの人々が集い、まちのにぎわいが進んでいます。

(施策)

- ア 指導者養成・競技力向上の推進
- イ 地域スポーツ団体・学校部活動の活性化
- ウ 地域における日常的な運動・スポーツ活動の活性化
- エ スポーツ活動を通じた地域活動の活性化

柱2 健康的な暮らしを実現するまち

(将来像)

- 区民一人ひとりが、健康の大切さを自覚し、疾病・介護予防などの情報や支援を得ながら、日々の暮らしの中から健康づくりに努め、健康的に暮らしています。
- 健康づくりや医療などの体制が整備・確保され、区民は健康不安のない暮らしを営んでいます。
- 自然と歩きたくなるまちの整備により、日々の暮らしの外出などが健康づくりにつながっています。

(10年後のまちの姿)

- 心身の健康の正しい知識と理解が進み、区民の健康意識が高まり、一人ひとりが健康づくりに取り組んでいます。
- 日々の暮らしの中で、自然と健康づくりにつながるような、まちの構造や景観が整備されています。
- 区民一人ひとりが、健診結果などの情報や身近な医療、地域の取組などを活用しながら、健康の自己管理に努め、健康の維持向上を図っています。

- かかりつけ医をもち、身近な地域で気軽に受診相談ができています。また医療機関相互の連携により、必要な医療が受けられる体制が整備されています。
- 健康危機に対しての迅速な対応が整備され、感染症など様々な健康への脅威が未然に防がれています。

(施策)

- ア 心身の健康づくりの推進
- イ 健康につながるまちづくりの推進
- ウ 生活習慣病等の予防対策と支援の充実
- エ 身近な地域の医療体制の充実
- オ 健康不安のない暮らしの維持

**柱3 障害の有無に分け隔てられることなく、自らの意思と決定に基づき自己実現できるまち
(将来像)**

- 地域での生活において、社会的障壁が取り除かれ、障害者は、自らの意思と決定に基づいて自己実現できる社会となっています。

(10年後のまちの姿)

- 総合的な相談支援体制と専門相談機能が強化され、障害者は身近な地域で必要な支援を受けながら安心して生活をしています。
- 障害者は多様なサービスの中から、自分に合ったものを選択して利用し、地域で自立した生活を送っています。
- 障害者は就労や地域活動を通じて社会に参加し、様々な交流や活動に関わることで、いきいきと暮らしています。

(施策)

- ア 相談支援体制の充実
- イ 地域生活の支援の促進
- ウ 障害者の社会参加の促進

柱4 暮らしの支えが整い、自立した生活を営めるまち

(将来像)

- 様々な暮らしの支えにより、区民の生活の安定と自立が促進されています。

(10年後のまちの姿)

- 適切に福祉サービスを受給できるしくみが整い、区民は自立した生活を営むことができます。
- 継続的な生活困窮に至る前から、就労支援等が行われ、区民は、安定した生活を営むことができます。
- 個人の力や地域の支えを超えて生活が困窮し、行政の支援が必要となった人に対して、区は生活の支援を行い、自立した生活を回復・維持する世帯が増えています。

(施策)

- ア 適切な福祉サービスの供給と苦情調整のしくみの充実
- イ 生活困窮状態からの回復と自立支援の促進
- ウ 生活の安定の保障

領域Ⅶ 社会保険制度等区民サービスの基盤に関する領域

柱１ 安定した社会保険制度の運営で暮らしを支えるまち

(将来像)

- 安定した医療保険制度の運営により、区民が安心して必要な医療を適切に受けることができます。
- 安定した介護保険制度の運営により、区民が安心して一人ひとりの状況に応じた適切な介護サービスを利用できています。

(１０年後のまちの姿)

- 社会保険制度にかかる説明や情報提供が、ワンストップでわかりやすく行われ、必要な人に必要な情報が提供されています。
- 正確な資格管理、保険料収納の確保により、社会保険制度の運営のための基盤が整っています。
- 医療・介護サービス等における給付が適正に行われ、社会保険制度が安定的に運営されています。
- 介護事業者への指導や人材確保の支援等により、適正な介護保険サービスを提供できる体制が整っています。

(施策)

- ア 安心して必要な医療が受けられる医療保険制度の運営
- イ 安心して必要な介護サービスが受けられる持続可能な介護保険制度の運営

柱2 質の高い区民サービスを支える基盤が整うまち

(将来像)

- 住民情報が正確に記録され、質の高いサービスが提供されています。
- 情報基盤により、区民が自身の住民情報を活用し、必要な行政サービスを知り、速やかに利用できるまちとなっています。
- 正確に記録された住民情報と多様な納付手段の提供が、適正な課税と納税につながり、区民サービスを支える基盤が強化されています。
- 情報通信技術と人的対応の連携により、区民はいつでも、どこでも、質の高いサービスを利用でき、豊かな生活を営んでいます。

(10年後のまちの姿)

- 住民基本台帳にかかる事務が正確に、安定的に行われるとともに、社会保障・税番号制度に対応した利活用が進み、区民サービスの正確性、利便性を高める環境の整備が進んでいます。
- 正確な課税とともに、税にかかる制度理解の促進や納税者の状況に応じた多様な納付手段の提供により、収入率が高まっています。
- 情報通信技術の活用や人的対応のための環境整備により、質の高い行政サービスの提供が進んでいます。

(施策)

- ア 住民情報の適正管理・提供
- イ 税収確保の推進
- ウ 情報通信技術と人的サービスの連携による新たな区民サービスの推進

領域Ⅷ 区民参加、行政運営等に関する領域

柱1 区民とともに区政を築くまち

(将来像)

- 区民は、自らの意思と合意に基づき、共通する幸福と豊かさを追求するため、質の高い情報を得て、区政の政策決定過程へ参加し、より良い中野のまちの実現をめざしています。
- 区民相互の人権が守られ、尊重し合あえる地域社会が形成されています。
- 多様な文化や多様な生き方を認めながら地球規模で考え、地域に根差した行動のもと平和で豊かなまちとなっています。

(10年後のまちの姿)

- 多様な媒体を通じて、区政情報の共有化、区民ニーズに応える双方向の情報交換等が図られ、区民が迅速、的確に質の高い情報を入手できています。
- 様々な行政データが広く活用され、行政の効率性、透明性が高まっています。
- あらゆる人にとって、公平・公正で、開かれた区政運営の基盤となる政策決定過程への参加のしくみと機会の拡充が図られています。
- 区民一人ひとりが自分を大切にするとともに、それぞれの考えや生き方を認め、差別されることなく社会に参画できる環境づくりが進んでいます。
- 他国との市民レベルの交流が進み、地域における相互理解の輪が広がり、恒久平和に向けた区民意識が高まっています。

(施策)

- ア 質の高い情報の提供と活用の促進
- イ 人権意識の向上と多様な人の参画の推進
- ウ 平和への貢献と国際理解の醸成

柱2 区民生活の将来を見据えた行政運営が行われるまち

(将来像)

- 将来を見据えた確かな状況分析のもと、区民にとっての価値を見きわめた施策立案がなされ、区民に信頼される区政運営が行われています。
- 将来の需要を見据え、強固な財政基盤が整っています。
- 区民の暮らしを守るための危機管理が徹底されています。

(10年後のまちの姿)

- 将来を見据えた様々な課題の分析や先進事例等の情報収集や共有化が図られ、組織としての政策立案力が強化されています。
- 区の幹部として女性が活躍することをはじめ、多様な人材の活用が図られています。
- 職員の特性や専門性を活かした人材育成・人事管理が行われています。
- 幅広い視野と区民への共感に基づいた施策を立案し、積極的に多様な主体と共働しい施策を遂行できる組織運営・職員育成が行われています。
- 効率化と質が保たれた、持続可能な確かな財政運営を行っています。
- 様々な主体によるサービスが展開される中、民間等が行う公共サービスを含め必要な質・量が確保されています。
- 将来を見据えた施策展開が実現し、区民が長く親しみ利用できる区有施設が整備、運営されています。
- 電子化された情報の保護が徹底され、高度に情報通信技術を活用しています。
- 危機発生時においても、区民の生命・財産が守られ、区民生活に密着する行政サービスの提供機能を維持するためのしくみと機能が充実しています。

(施策)

- ア 将来を見据え、先進的な施策を形成する組織運営・職員育成
- イ 確かな財政運営
- ウ 将来を見据えた施策展開を実現する公共施設の整備・運営
- エ 危機管理の強化